



専門看護師・認定看護師会 ニュースレター

専門・認定看護師会では、専門・認定看護師の活動報告や、各領域の専門知識をワンポイントアドバイスでお知らせするため、ニュースレターを毎月発行しています。

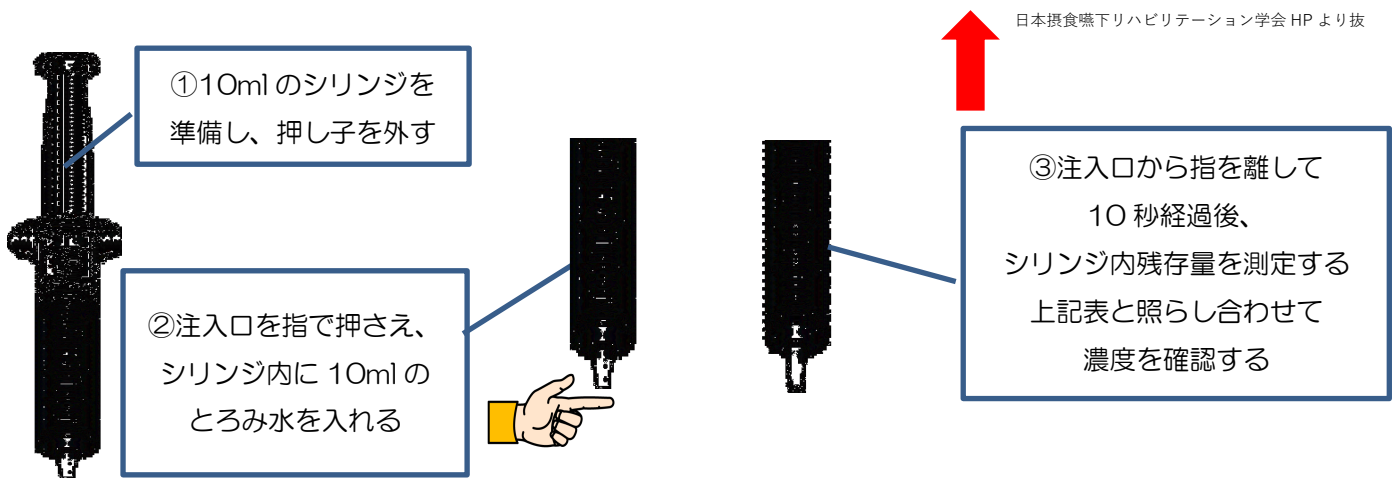
とろみの濃度 ～ベッドサイドで確認できます～

嚥下障害や口腔機能の低下のある、または疑われる患者さんに対して水分摂取の際に使用されるとろみ剤。しかし、ベッドサイドでとろみのついた水分を見て、濃度が薄いのではないかと濃いのではないかと疑問を持つ方もいるかと思えます。

2021 年 9 月の日本摂食嚥下リハビリテーション学会において、学会分類 2021（とろみ）が公表されました。学会分類 2013（とろみ）への追加点として、粘度測定装置がなくても可能な簡便な試験方法として、10 ml シリンジを用いた 10 秒後の 残存量の値が示されたのでご紹介します。とろみの濃度を確認する際にご活用ください。

学会分類 2021（とろみ）早見表

| | 段階 1 薄いとろみ【Ⅲ-3 項】 | 段階 2 中間のとろみ【Ⅲ-2 項】 | 段階 3 濃いとろみ【Ⅲ-4 項】 |
|---------------------------------|--|--|---|
| 英語表記 | Mildly thick | Moderately thick | Extremely thick |
| 性状の説明 (飲んだとき) | 「drink」という表現が適切なとろみの程度口に入れると口腔内に広がる液体の種類・味や温度によっては、とろみが付いていることがあまり気にならない場合もある飲み込む際に大きな力を要しないストローで容易に吸うことができる | 明らかにとろみがあることを感じ、かつ「drink」という表現が適切なとろみの程度口腔内での動態はゆっくりですぐには広がらない舌の上でまとめやすいストローで吸うのは抵抗がある | 明らかにとろみが付いていて、まとまりがよい送り込むのに力が必要スプーンで「eat」という表現が適切なとろみの程度ストローで吸うことは困難 |
| 性状の説明 (見たとき) | スプーンを傾けるとすっと流れ落ちるフォークの歯の間から素早く流れ落ちるカップを傾け、流れ出た後には、うっすらと跡が残る程度の付着 | スプーンを傾けるととろとろと流れるフォークの歯の間からゆっくりと流れ落ちるカップを傾け、流れ出た後には、全体にコーティングしたように付着 | スプーンを傾けても、形状がある程度保たれ、流れにくいフォークの歯の間から流れ出ないカップを傾けても流れ出ない(ゆっくりと塊となって落ちる) |
| 粘度 (mPa·s) 【Ⅲ-5 項】 | 50-150 | 150-300 | 300-500 |
| LST 値 (mm) 【Ⅲ-6 項】 | 36-43 | 32-36 | 30-32 |
| シリンジ法による 残留量 (ml) 【Ⅲ-7 項】 | 2.2-7.0 | 7.0-9.5 | 9.5-10.0 |



個々に合わせたとろみの濃度を統一することは、早期咽頭流入による誤嚥や咽頭へ付着する違和感、水分の風味の低下を軽減し、安全な水分摂取の援助につながります。

とろみの濃度設定や使用するとろみ剤の量は、言語聴覚士、摂食・嚥下障害看護認定看護師の評価を確認してください。